

令和3年度 事業方針・計画

1. 基本方針

〈目的〉

1. 岩手県における卓球界を統括し代表する団体として、卓球の普及振興を図り、もって岩手県民の心身の健全な発展に寄与すること。
2. スポーツで定められたルールとフェアプレイ精神を守り、正々堂々と競い合い、お互いに敬意を払い、明るく公正・公平な姿勢と行動を守ること。

〈施策〉

1. 大会運営

- (1) 大会の開催する意味、目的等を明確にし、かつ遵守した事業内容とすること。
- (2) 大会開催にあたっては事業収支のバランスがとれていること。

2. 強化

- (1) 選手の技術向上、取組み姿勢、豊かな人間性の醸成に資する取組みとする。
- (2) 全日本大会の上位入賞を目指す指導者の育成をはかる取組みとする。

3. 普及

- (1) 小学生、中学生などの全ての登録者拡大に向けた積極的な取組みとする。
- (2) 未登録者を含む卓球愛好者、生涯スポーツの普及推進の取組みとする。

4. 加盟団体連携

- (1) 県民大会開催等による支部協会の組織力強化に資する取組みとする。
- (2) 登録クラブの活性化、発展に寄与する取組みとする。

5. 専門委員会

- (1) 各専門委員会の競技力向上及び普及、組織力強化に寄与する取組みとする。
- (2) 公認審判員及び公認指導者の資格並びに段級制を認定し登録すること。

2. 主要事業計画

(1) 全国・東北大会等

- ① 第一三共ヘルスケア・レディース2021 第33回東北ブロックレディース卓球大会
 - ・期日 令和3年6月12日(土)～13日(日)
 - ・会場 花巻市総合体育館第3アリーナ
- ② 第35回全国ホープス北日本ブロック卓球大会
 - ・期日 令和3年7月30日(金)～8月1日(日)
 - ・会場 花巻市総合体育館第1・2アリーナ
- ③ 令和3年度東北北海道ブロック中学生研修
〃 パスウェイ強化事業(小学4年以下)
 - ・期日 令和3年11月5日(金)～11月7日(日)
 - ・会場 矢巾町民総合体育館 矢巾町公民館

(2) 県内主要大会

- ① 第73回岩手県民体育大会
 - ・期日 令和3年7月3日(土)～4日(日)
 - ・会場 盛岡市 岩手県営体育館

3. 事業施策

(1) コロナ禍における大会運営

- ① 3年度大会は原則無観客（入館名簿作成）とし事業計画どおり開催する。
- ② 感染予防対策を実施するとともに、大会が密にならない方法で開催する。
- ③ 大会役員、選手、監督、帯同者には、健康状態報告書の提出を義務付ける。
- ④ 大会会場の市町村行政の規制等をその都度確認し開催する。

※大会中止の判断

- ① 岩手県に緊急事態宣言が発令された場合。
- ② 大会会場の市町村行政から何らかの指導があった場合。
- ③ 県民体育大会の判断は県の指導に従う。

(2) 大会運営

- ① 委員会は大会開催要項等で開催の趣旨、目的を明確に示すとともに、大会収支算案をあらかじめ作成し収支のバランスをはかる。
- ② 大会開催に当ってはその関連する専門委員会との連携を図り協力して取組む。

(3) 強化

- ① 3年度強化方針に示したとおり平成22年作成の「競技者育成プログラム」を強化の指針として取組む。
- ② 国体強化はもちろんであるが強化重点種目は、ホープス、カブ、バンビとし底辺拡大のため普及にも力を入れる。
- ③ 各委員会が取組む強化及び普及事業に強化・育成委員を派遣し運営にあたる。

(4) 普及

- ① スポーツとしての卓球の価値をあげる為に全てのカテゴリーの普及に取り組む。
- ② 健康を目的とした生涯スポーツとして卓球の普及、障がい者、健常者を問わず卓球の普及に取り組む卓球人口の拡大を目指す。

(5) 加盟団体連携

- ① 県民体育大会の持ち回り開催により支部協会の組織力が活性化すること。
- ② 登録会員及びクラブチームの発展、活性化につながる取組みを行う。

(6) 専門委員会

- ① それぞれの専門委員会の競技環境や特徴、特性を見極め、きめ細かい強化事業及び普及活動に取り組むこととする。
- ② 社会情勢によって、専門的委員会が必要となったときは状況に応じて組織する。

4. 高体連専門部の取組み

(1) 主要大会

- ① 岩手県高校総合体育大会卓球競技
 - ・日時 令和3年5月20日(木)～23日(日)
 - ・会場 宮古市民総合体育館
- ② 岩手県高校新人卓球大会
 - ・日時 令和3年10月22日(金)～24日(日)
 - ・会場 奥州市総合体育館

(2) 重点取組み

- ① 感染予防対策を実施しながら安全な大会を開催する。

5. 専門委員会の取組み

(1) 障がい者スポーツ委員会

- ① 第2回岩手県障がい者オープン卓球大会
 - ・日時 令和3年8月29日(日)
 - ・会場 サン・アビリティーズ一関

(2) 社会人委員会

- ① 大会名及び要項の一部変更などを周知徹底し大会参加者増を目指す。

(3) ラージボール委員会

- ① 全国健康福祉祭県予選会
 - ・日時 令和3年5月9日(日)
 - ・会場 盛岡タカヤアリーナ
- ② 岩手県民長寿体育祭
 - ・日時 令和3年9月5日(日)
 - ・会場 県営体育館
- ③ 全日本ラージボール卓球選手権大会県予選会
 - ・日時 令和3年11月28日(日)
 - ・会場 花巻市民体育館

(4) レディース委員会

- ① 新規大会(仮称) 第1回岩手県混合ダブルス団体卓球大会
 - ・期 日 令和3年8月29日(日)
 - ・会 場 盛岡タカヤアリーナ
 - ・試合方法 ①女子ダブルス ②男子ダブルス ③混合ダブルス

(5) ホープス委員会

- ① 普及を目的に小学生が卓球を始めるきっかけとなる大会を実施する。

(6) カデット委員会

- ① 底辺の拡大策を実行し登録人数の拡大につなげる。

(7) 審判委員会

- ① 委員会組織の活性化
 - ・定期的に委員会を開催し、ルール・審判に関する情報(ITTF・JTТА)を共有しながら、審判実務に活かす。
 - ・審判用具を整え、講習会や審判実務に活用する。
- ② 公認審判員講習会の開催
 - ・新規取得及び更新者のため、委員会から講師(公認レフェリー)を派遣し、公認審判員講習会を開催する。(高校生にあっては高体連と連携しながら開催する。)
- ③ 各種大会への審判員の派遣
 - ・県内大会において審判実務の機会を設けるとともに、委員会から審判員を派遣し、審判技術の向上を図る。

- ・全国規模の大会へ審判員（上級公認審判員または公認レフェリー）を派遣し、審判技術の向上を図るとともに、審判長（副審判長）の役割や競技（大会）運営について研鑽を深める。

6. 創立100周年記念事業

(1) 記念式典

- ・令和4年（2022年）11月開催予定

(2) 準備委員会発足

- ・委員長 小野 豊
- ・委員 新沼興隆、高橋和博、下権谷久和

(3) 記念誌発行

- ・100年のあゆみ作成中 「大正12年（1922年）創立」
 - ① 明治・大正時代
 - ② 昭和初期から終戦まで
 - ③ 昭和20年～40年代
 - ④ 昭和40年～昭和45年岩手国体まで
 - ⑤ 昭和45年岩手国体以降～昭和58年まで
 - ⑥ 平成元年～平成30年まで
 - ⑦ 令和3年まで

(4) 記念事業

- ・「Standard杯」岩手県少年卓球大会（仮称） 3年12月～4年5月開催目指す
- ・提案先 山口北洲印刷㈱（岩手スポーツマガジンStandard発行人）

別表① 令和3年度 全日本選手権大会各種目出場枠（令和3年3月7日現在）

	団 体	男子単	女子単	男子複	女子複	混 合	特別枠 (ベンホルダー 又はカットマン)
一般の部		2	2	1	1	1	
ジュニア		3 + 1	3				
カデット(中学2年)		2	2	2	2		今年度なし
カデット(中学1年)		2	2				
ホープス		3	3				今年度なし
カブ		3	3				
バンビ		3	3				
マスターズ		2	2				
ホープス団体	1						
社会人		4	4	2	2		
クラブ	1						
レディース	1						

※注 全日本選手権東北ブロック推薦枠 ジュニア男子1名

別表② 全日本選手権大会 東北ブロック推薦枠割当表 (ジュニア又は一般)

年度	特別推薦枠	該当種目
2020 (R 2) 年度	女子1名	女子ジュニア
2021 (R 3) 年度	男子1名	男子ジュニア
2022 (R 4) 年度	なし	
2023 (R 5) 年度	女子1名	未定

別表③ 国民体育大会卓球競技東北ブロック代表数

回	年度	開催地	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
第75回	R 2 (2020)	鹿児島県(延期)	6	2	2	4
第76回	R 3 (2021)	三重県	2	4	6	2
第77回	R 4 (2022)	栃木県	4	2	2	6
第78回	R 5 (2023)	鹿児島県	6	2	2	4
第79回	R 6 (2024)	佐賀県	2	6	4	2

別表④ 東北卓球連盟関連事業開催地一覧

年度	ミニ国体	東北合宿	高校選手権	高校選抜	東北中学	東北レディース	北日本ホープス	審判講習会	東北ラージ	年度
2017	秋田 (鹿角市)	青森	山形	秋田	宮城	宮城	福島	宮城	宮城	H29
2018	宮城 (気仙沼市)	岩手 (一関市)	青森	宮城	福島	青森	北海道	山形	山形	H30
2019	福島 (南相馬市)	宮城	岩手 (奥州市)	福島	山形	秋田	青森	秋田	秋田	R元
2020	山形 (鶴岡市) (中止)	福島 (郡山市) (開催)	宮城 (仙台市) (中止)	山形 (天童市) (開催)	秋田 (秋田市) (中止)	山形 (天童市) (中止)	岩手 (盛岡市) (中止)	福島 (郡山市) (中止)	青森 (青森市) (中止)	R 2
2021	山形 (鶴岡市)	山形 (天童市)	秋田 (秋田市)	宮城 (仙台市)	青森 (八戸市)	岩手 (花巻市) (中止)	岩手 (花巻市)	福島 (郡山市)	青森 (青森市)	R 3
2022	青森	秋田	福島	青森	岩手 (未定)	山形	宮城	岩手 (未定)	岩手 (未定)	R 4
2023	岩手 (未定)	青森	山形	岩手 (未定)	宮城	福島	山形	青森	宮城	R 5
2024	秋田	岩手 (未定)	青森	秋田	福島	宮城	秋田	宮城	福島	R 6
2025	宮城			宮城		青森	福島	山形	山形	R 7
2026				福島						R 8
2027				山形						R 9
2028										R10